

【中学校・第3学年学級活動・夏休みの過ごし方について考える】①

情報を共有・協議する中で、自分の考えを修正する過程を意識した授業

題材の目標

夏休みを有意義に過ごすための目標について、根拠をもって話したり、聞いたりする活動を通して自身に適した目標設定をすることができる。

ICT活用のポイント

それぞれの目標をグループ内外で共有することで、協議しやすくなり、必要に応じてすぐに修正できる。

事例の概要（追究する過程 1時間）

【つかむ】

充実した夏休みを送るための心構えを知り、夏休みの目標を立てる。

【追究する】 ICT活用

具体的で無理のない目標設定が大切であることに気づき、共有・協議を通して修正する。

【まとめる】

夏休みの目標に対する自分の取り組みを振り返る。

○Google Formsを用い、つかむ過程で事前アンケートの結果をグラフで示し、本時のめあてにつなげる。
→【事例におけるICT活用の場面①】

○抽象的な目標の例と具体的数値が入った目標の例を見せ、目標を立てる際に大切なポイント（具体的である、無理しすぎないなど）に気づかせる。Googleスライドを用い、どちらの目標がよいかをグループで話し合いをさせ、コメントを記入させる。
→【事例におけるICT活用の場面②】

○目標を立てる際のポイントを踏まえながら、事前に考えた自分の目標について修正、加筆をする。
→【事例におけるICT活用の場面③】

○修正した目標をグループ内で発表し合い、必要に応じて修正する。

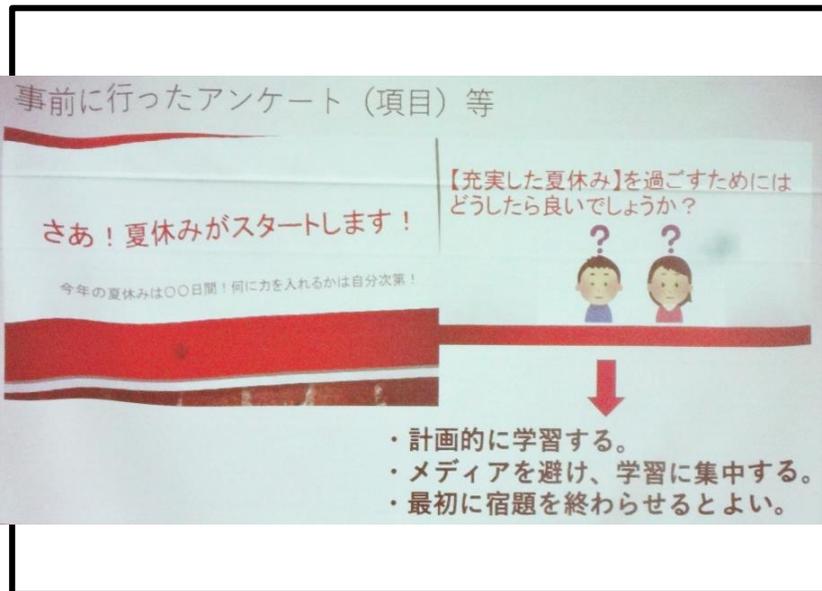
○個々の目標をスクリーンに映して見合い、それぞれの目標のよさを確認する。

○自分の“夏休み過ごし方宣言”をタブレットPCの壁紙に設定する。
→【事例におけるICT活用の場面④】

○本時の振り返りをGoogle Formsで行う。

【中学校・第3学年学級活動・夏休みの過ごし方について考える】② 情報を共有・協議する中で、自分の考えを修正する過程を意識した授業

【事例におけるICT活用の場面①】 (活用したソフトや機能) ・Google Forms, Google Classroom, Googleスライド



事前にGoogle Formsを利用して行ったアンケートの結果をプロジェクターで示した。「充実した夏休みにはどうしたらよいか」という質問に対し、生徒の回答を表示した。言葉だけでなくグラフでも表示することで、友達がどんなことに気を付けたら良いと考えているのかが分かりやすくなった。友達が同じ考えだという安心感と、そこまで考えているのかという驚きがあった。

【事例におけるICT活用の場面②】



Googleスライドを利用して、例に挙げられた2つの目標を見て、どちらの目標が達成しやすいかを考え、グループで話し合った。目標を作る上での観点を明確にするための話し合いである。グループごとのスライドを準備し、タブレットPCで共同編集を行わせた。他のグループの意見を参考にしやすい、一斉に編集できるなどのメリットがあった。

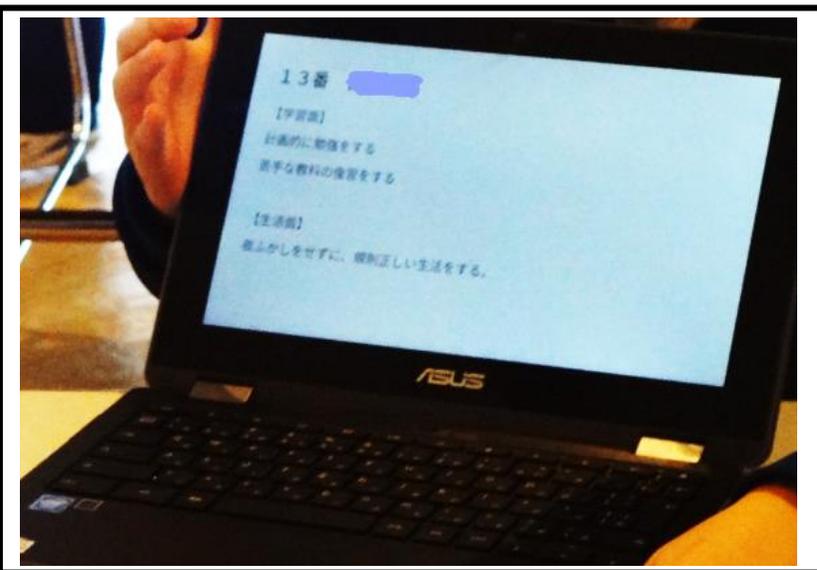
【中学校・第3学年学級活動・夏休みの過ごし方について考える】③ 情報を共有・協議する中で、自分の考えを修正する過程を意識した授業

【事例におけるICT活用の場面③】 (活用したソフトや機能) ・Google Forms, Google Classroom, Googleスライド



Googleスライドを活用して事前に立てた夏休みの目標を、目標を立てるための観点に合わせて修正した。その後、修正したものをグループで話し合った。友達に見やすいようにタブレットPCの向きを変え、指で示しながら発表した。その後、友達の意見を聞いて、再度修正する姿も見られた。

【事例におけるICT活用の場面④】



修正した目標を確認し、それぞれの目標の良さを見合った。その後、夏休みの目標を『夏休みの過ごし方宣言』として各自のタブレットPCの壁紙に設定した。